



公益財団法人 かながわ国際交流財団  
Kanagawa International Foundation



外国人住民  
子育て応援キャンペーン2018

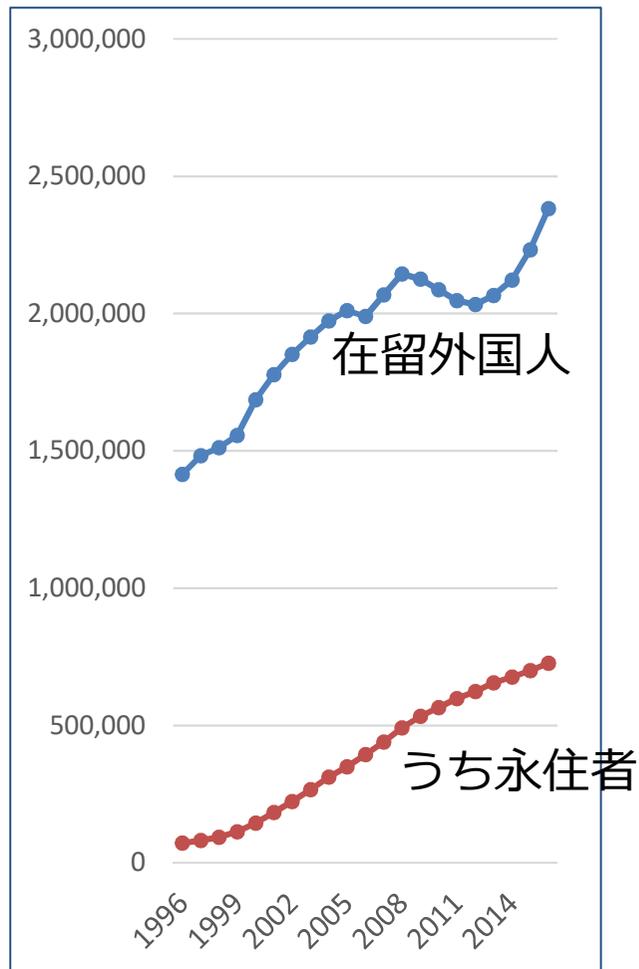
外国人も  
神奈川で安心して  
子育てしたい

---

ご支援のお願い

# 増える外国人の定住

## 在留外国人人数と永住者数



在留外国人人数

**238万2822人**

1996年の1.77倍

永住者

**72万7111人**

1996年の約10倍

(2016年末法務省公表数)

# 神奈川県で生まれる子どもたち

県内で生まれた子ども  
72,323人



うち  
外国につながる子ども  
3,673人



## 19人に1人

### は両親のいずれかが外国人の子ども

※2016年度厚生労働省「人口動態統計」より

※全国は27人に1人、東京都は15人に1人が外国につながる子どもです

前年度は  
22人に1人  
でした

誰もが安心して子育てができる神奈川をつくるため、ご協力をお願いします



公益財団法人 かながわ国際交流財団  
Kanagawa International Foundation

# 外国人の子育ての課題

- 1 日本の制度・仕組みがわからない
- 2 相談相手が得にくく、孤立しやすい
- 3 支援者も外国人のニーズや事情がわからない



# 課題解決にむけて財団が行うこと

## 1 外国人への情報提供

外国人が自分で行動できるように  
日本での子育てについて、わかりやすく伝えます

## 2 コミュニケーション促進

支援者が外国人に寄り添い  
対話ができるようにお手伝いします

## 3 支援者への情報提供

外国人の文化的背景・対応方法について  
情報を提供します



# 子育てに必要な資料を届けます



## 子育て応援キット

- 多言語による「子育ての流れ図」「病院で使う医療問診票」「相談窓口の情報」等をセット
- 母子手帳交付窓口50カ所、協力医療機関121カ所、子育て支援センターなど38カ所で配布
- 言語：中国、タガログ、スペイン、ポルトガル、ベトナム、英語（6言語）

はじめて母子手帳をもらったときは、日本語だけでわからなくてパニックになりました(ママ)

母子訪問で家庭に伺うと「子育ての流れ図」が冷蔵庫に貼ってあります(助産師)

## 2018年度は？

- 引き続き、情報提供が必要です
- 2017年度に作成した動画も紹介し、手軽に配布、保管しやすいように、「リーフレット」一枚にまとめて提供します



# 7言語の動画で視覚的に案内します

## 動画「外国人住民のための日本の子育て」

- 「子育ての手続きの流れ」「母子手帳」「母子訪問」に関する3つの動画を作成
- スマートフォンやPCから誰でも閲覧可能。母子手帳交付窓口、協力医療機関にはDVDを配布
- 言語：中国、タガログ、スペイン、ポルトガル、ベトナム、英、ネパール語（7言語）



### 試写会を行いました

2017年11月、未就学児を持つベトナム人ママたちの協力で試写会を行ったところ、次のような意見をもらいました



子どもの小学校入学準備とか、知らないことがあったので、見てよかったです

母子手帳や予防接種など母国とは違うことが多いので、とても役に立つ情報だと思いました

# 支援者が外国人に寄り添う対話をサポート

## 多言語相談窓口の運営

- 内 容： 多言語による相談対応、役所と外国人の間の電話通訳など
- 言 語： 中国、タガログ、スペイン、ベトナム、英、やさしい日本語（6言語）

## 子育て支援現場への通訳派遣の試行

- 派遣先： 12市町村
- 言 語： 中国、ベトナム、スペイン、タイ、英、タガログ、シンハラ、カンボジア、ラオス、ベンガル、ポルトガル、インドネシア、ロシア語等

## 2018年度は？

- 市町村、病院などと連携し、「外国人妊産婦等を対象にしたワークショップ」を実施します。県内各地で行われるよう、事例を情報発信していきます



# 支援者に効果的な対応方法を伝えます

## 研修の開催・情報提供

- 対象者： 保健師、保育士、民生委員、主任児童委員、児童相談所職員、児童養護施設職員
- 内容： 外国人の背景と課題の情報提供、外国人当事者の体験談、面談の演習など
- ツール・資料など： 産前・産後確認シート、赤ちゃん訪問用コミュニケーションツール、外国につながる親子のための入園のしおり他

## 2018年度は？

- 保健師、助産師等を対象に、妊娠から子育てまでの支援方法のノウハウ、実践例を紹介した「**子育て支援マニュアル**」も作成、普及します



# 子育て応援の全ツールをWebに掲載

## 子育て支援サイト

■ 外国人は子育て支援サービスをスマートフォンやPCから確認可能

■ 支援者はコミュニケーションツールなどをダウンロード可能

■ 協力者の企業団体のご紹介も行っています

外国人住民のための子育て支援サイト  
Parenting in Japan ~Steps from Delivery to School Enrollment~

更新情報

- <支援者の方々へ> 動画『外国人住民のための日本の子育て』の案内を掲載しました。(2017/12/14)
- <外国人住民の方々へ! For Foreign Residents> 動画を追加しました。New videos have been added to our website. (2017/12/14)

外国人住民の方々へ  
For foreign residents

支援者の方々へ  
For supporters

子育て支援全般  
母子保健 保育

私たちは外国人住民の子育てを応援しています。  
We support foreign residents raising children in Japan.

協賛

協力

後援

神奈川県

問合せ：(公財) かながわ国際交流財団 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2かながわ県民センター13階 多言語支援センターかながわ内  
Copyright © Kanagawa International Foundation. All rights reserved.



ご協力が誰でも安心して子育てできる神奈川をつくります

# キャンペーンご参加のお願い

## 1 資金のご提供（寄付金、協賛金）

項目	金額	特典
Aタイプ	50万円～	・「子育て応援の資料」ロゴ掲載（大サイズ） ・「子育て支援サイト」バナー広告（1年間）
Bタイプ	20万円～	・「子育て応援の資料」ロゴ掲載（中サイズ） ・「子育て支援サイト」バナー広告（1年間）
Cタイプ	10万円～	・「子育て応援の資料」ロゴ掲載（小サイズ） ・「子育て支援サイト」バナー広告（1年間）
Dタイプ	個人一口1万円～	・「子育て支援サイト」へのご芳名掲載

## 2 協働事業の企画、子育て関連の協賛物品の提供など

## 3 子育て支援の動画、資料の普及

## 4 その他 財団ホームページへのバナー広告掲載、賛助会員制度もあります



# 私たちも応援しています



公益社団法人 神奈川県医師会  
Kanagawa Prefecture Medical Association

## 公益財団法人神奈川県医師会

かながわ国際交流財団の「外国人住民のための子育て支援サイト」を通じ、外国人住民の方々が言葉のハードルにより不安を抱かず、医療機関及び行政機関とのコミュニケーションが十分にとれ、神奈川県で安心して子供を産み育てることができる環境を整えばと考えております。



Yokohama Medical Association  
横浜市医師会

## 一般社団法人横浜市医師会

近年、神奈川県に暮らす外国の方は年々増加し、国際都市横浜にはその半数が暮らしています。これらの方々が安心して出産・子育てを出来る環境を整備することは重要です。かながわ国際交流財団のさまざまな子育て支援事業が外国の方々に大きな助けとなることを期待致します。

上記のメッセージは財団が運営する「子育て支援サイト」([www.kifjp.org/child](http://www.kifjp.org/child))より抜粋しました。同サイトでは、このほかにも協力団体・企業の皆様からの応援メッセージをご紹介します。



公益財団法人 **かながわ国際交流財団**  
Kanagawa International Foundation

外国人住民  
子育て応援キャンペーン2017

## 協力団体・企業

(敬称略)

- 日産自動車株式会社
- 公文教育研究会日本語事業部
- 株式会社母子保健事業団
- 公益財団法人神奈川県医師会
- 一般社団法人横浜市医師会
- 産後ヘルパー株式会社
- 公益財団法人横浜市国際交流協会
- 公益財団法人川崎市国際交流協会
- 公益財団法人大和市国際化協会
- 認定NPO法人多言語社会リソースかながわ (MICかながわ)

